



⑦「蕎麦田毎三条本店」

三条通りアーケード中ほどにある。京らしい風流な種類がメニュー表に載っているの、目通しするだけでも楽しい。
練蕎麦、海老太子などがオススメ。



⑧「六曜社珈琲」

河原町三条下った東側にある昭和の趣を色濃く残す。ドーナツ&珈琲は、学生時代以来の名物メニュー。レトロ感覚を楽しむ若い世代やインバウンドにも名高いらしい。



②「スタンド」

土産物屋が立ち並ぶ往来激しい歩行を邪魔するかのよう、新京極通りに看板を出す。軽口叩く店主。店奥に連なる一枚テーブルに回転椅子が並び、所狭しと酔客で賑わう。



③「たつみ」

四条裏寺通りにひっそり佇む傷んだ町家風の大家居酒屋。佇まいとは裏腹に、店内は地元の酒仙たちで大賑わい。テーブル席もあるが、立ち飲みがいい。店内狭しと貼りだされた小鉢肴の数々。京の食卓を飾るおぼんざいに事欠かず、晩酌気分一杯が二杯に。



④「都そば」

四条河原町にほど近い四条通りに面した立ち食い蕎麦屋。飲み過ぎた日の早朝、かるく街角散策する際、汁物で胃腸を整えるうえで、スタミナうどんを食す。



①「田ごと」

手軽に京懐石料理を楽しむことができる。「光悦水指弁当」で名高い。四条御旅所前の本店のほか高島屋レストラン街にも店舗がある。甘鯛の蕪蒸しは食したい逸品。



⑤「高島屋地下食品街」

昼酒で小腹を満たす京弁当や和菓子などの食材を買い込むには最適。錦小路がインバウンドの聖地と化して以来、食材調達に余念なき食品街。

⑨「松葉」

南座と言えば「松葉」。言うまでもなく練蕎麦。麺汁は、宅の食卓をさまざま飾る。煮物小鉢から蕎麦うどん。我が家では普段の食卓から味が通じているので、変わらぬ味わいに舌鼓。



⑥「Bar 高木初」

先斗町沿いの高喜ビル2階にひっそりした構えのBar。所作振る舞い美しながら、忌憚なく皮肉ながらも洒脱な会話が弾む京女の女将さま。軽口叩きながら気さくに酒仙に至る中年バーテンダー。お二人に会うだけでも価値があるので、酒の味は二の次に。

